

第45回 寒地道路連続セミナーを開催しました

寒地道路研究グループ

寒地道路研究グループでは寒地道路に関する様々な研究について、情報提供と意見交換の場として寒地道路連続セミナーを開催しています。さる令和4年11月29日に第45回寒地道路連続セミナー「寒地道路研究グループ 第4期中長期計画 研究成果報告会」をオンラインにて開催しました（写真-1、2）。

本セミナーは、寒地道路研究グループが第4期中長期計画（平成28年～令和3年度）の6年間に取り組んできた凍結路面对策、交通安全対策、吹雪・視程障害対策や雪崩対策等の研究の中から6つの研究テーマについて話題提供を行い、これらの研究成果を広く知っていただくことを目的としたものです（表-1）。

講演内容について参加者の方からの質問を基にした活発な議論も行われました。例えば、雪氷チームの大宮が講演した北海道内を対象とした気象レーダを用いた吹雪障害の推定手法については、北海道外における吹雪障害も同様の推定手法によって予測することが可能かといった質問があり、今後の研究への展開を見据えた議論ができました。

本セミナーへは北海道開発局や地方自治体の行政機関やコンサルタントなどの民間企業から61名の参加申し込みがあり、希望者にはCPDを発行しました。お忙しい中、聴講いただいた方々にお礼申し上げます。寒地道路連続セミナー等を含む、寒地道路研究グループの研究報告やその他の活動は当グループのホームページ“北の道リサーチ”（<https://www2.ceri.go.jp/jpn/index.htm>）にて掲載しています。寒地道路研究



写真-1 配信会場（右端：講演者、他：運営担当）



左：主任研究員 四辻、右：主任研究員 松島

写真-2 講演のようす

グループでは今後も研究成果の普及促進に努めて参りますので、よろしくお願い申し上げます。

（文責：寒地交通チーム 奥村 航太）

表-1 講演プログラム

講演テーマ	講演者
開会挨拶	寒地道路研究グループ グループ長 松澤 勝
防錆効果を有する非塩化物系凍結防止剤の開発	寒地交通チーム 研究員 村上 健志
ワンマン化に寄与する凍結防止剤自動散布支援システムの開発	寒地交通チーム 主任研究員 大廣 智則
冬期交通事故リスクマネジメントの支援技術	寒地交通チーム 主任研究員 四辻 裕文
防雪柵の開口部対策に関する技術資料(案)について	雪氷チーム 上席研究員 西村 敦史
下枝の枯れ上がりが見られる防雪林に関する技術資料(案)について	雪氷チーム 主任研究員 松島 哲郎
気象レーダを用いた吹雪視程障害のリアルタイム推定	雪氷チーム 研究員 大宮 哲